



- 会長／林広一郎
- 副会長／小口裕司・宮坂晃介
- 幹事／北澤洋之介
- R 情報(会報)委員長／吉村栄二

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 太田屋メモリー

第 2993 回例会 2023 年（令和 5 年）4 月 25 日(火)

点 鐘：林 広一郎 司 会：山崎典夫

斉 唱：奉仕の理想

ラッキーNo：NO. 31 小林大介

皆 勤 祝：大橋正明 44 年・尾関秀雄 44 年・小口泰史 27 年・太田博久 17 年・矢島雄一 2 年

誕 生 祝：宮澤由己・梅垣和彦・上條英雄

結 婚 祝：平沢清文・矢島 実・牛山幸一・山崎典夫・太田博久

小口裕司・江黒博文・小宮山英利・矢島雄一



誕生祝

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

本日のゲストをご紹介します。

岡谷ロータリークラブの名誉会員であり、岡谷市長の今井竜五 様です。

年度初め何かとご多用の中、ようこそお越しく下さいました。ありがとうございます。後ほど卓話をお願いしています。よろしく願いいたします。

次に、この度、米山奨学生としてお世話することになりました

ゲン ゴック フェンさんです。

この後、ご紹介のセレモニーがあります。よろしく願いします。

本日は4月25日です。会員皆様の会社や事業所でも、毎月25日が給料日というところが多いのではないのでしょうか。私の勤め先も本日が給料日です。特に今月は、社会人として新たな人生を歩み始めた新入社員にとっては、初任給を貰える日ということで、心なしかうれしそうな表情をしていました。

私自身、約40年前(昭和50年代半ば)、初めて給料をいただいた頃のことを思い返してみますと、現金の入った給料袋を手にして、何とも言えない重みを感じていたことをおぼろげながら覚えています。新しい生活がスタートして何とか1ヶ月が過ぎようとしている、でもこれからどんな仕事を担当するのだろうか、ホッとした気持ち、感謝の気持ち、不安な気持ちを抱えてのことでした。それは、学生時代アルバイトで貰っていた給料袋とは、ちょっと違う感覚でもありました。その後2~3年程して、給料の支給方法も現在のような口座

振り込みとなりました。給料袋の中味は明細表のみとなり、事務処理の負担軽減というやむを得ない事情があったとはいえ、少々さびしく感じた次第です。

平成・令和と時が流れてネット環境が普及するに伴い、今の若い社員たちは、ペーパーレス化の影響もあり、通帳を持たずにスマホのアプリで自分の銀行口座の入出金を管理しているということで、本当に時代は大きく変わってきていると強く感じています。また、日々の支払いもキャッシュレス化が進んでいく中で、お金の存在というものをリアルに感じる場面も、時には必要ではないかと思ったりもしています

そして、ロータリー活動においても、お金に対する意識を高めながら、奉仕活動や親睦活動に、しっかり貢献していくことができればと思っています。

以上、会長挨拶といたします。本日もよろしく願いいたします。

幹事報告

- ・次週5月2日は、年間計画による指定休会日です。
- ・次回は5月9日、清掃例会です。
- ・理事会に於いて、今年度のバスハイクは中止と決定いたしました。

委員会報告

社会奉仕委員会 5月9日は清掃例会です。場所は総合体育館裏のロータリー碑周辺の清掃活動を行います。車での移動をお願いいたします。

米山奨学生奨学金贈呈

・米山奨学生紹介 小口裕司カウンセラー

4月から来年3月まで、信州大学経法学部 応用経済学科4年のグエンゴックフエンさんをお世話することになりました。私はカウンセラーを務めることになりました。出身はベトナムです。よろしく願います。

・米山奨学生挨拶 グエン ゴック フエンさん

はじめまして。信州大学経法学部応用経済学科グエンゴックフエンと申します。フエンと呼んでいただけると嬉しいです。将来はIT関係の仕事をしたいと考えています。まだ分からないことがたくさんありますが、今日はロータリーの皆さんに囲まれてチャンスと感じ、感謝いたします。これからもよろしく願います。

・奨学金贈呈 林会長より

私たちの気持ちをしっかりお伝えしたいと思います。どうぞ、これからも頑張ってください。





卓話「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」

岡谷市長 今井竜五様

岡谷ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃より、岡谷市政に対しまして、特段のご理解ご協力を賜り、また、それぞれのお立場で、産業振興・地域振興にご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

上げます。

本日は、時間が限られておりますので、この4月から始まっております各種事業の取組みの一部を紹介させていただきます。

なお、市政に対する質問やご意見等がありましたら、お気軽に秘書広報課へお寄せください。

令和5年度は、「第5次岡谷市総合計画 前期基本計画」の最終年度となります。

前期5年間の総仕上げの年として、基本目標の達成に向けた取組を確実に進めるとともに、後期基本計画期間となります。令和6年度からの5年間を見据えた効果的な取組に積極的に投資することにより、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、加速度を上げて前進してまいります。

こうしたことから、本年度を「未来を見据えた躍動の年」と位置づけるとともに、重点施策として「活力と彩りの創造」、「未来に輝くひとづくり」、「穏やかで美しい日常の実現」を掲げ、各種施策、事業を展開してまいります。

さらに、「移住・定住の促進」及び「ゼロカーボンの推進」につきましては、財源を重点的に配分し着実に推進いたします。

それでは、重点施策ごとに、その取組みの一部をご説明します。

一つ目の重点施策「活力と彩りの創造」です。

国際情勢等に起因する物価高騰が続く中、引き続き、市民の日常生活を守るとともに、企業活動の継続支援や消費需要の喚起などにより、市内事業者の持続的な成長を後押ししてまいります。

また、現在の地方移住に対する関心の高まりや、新たな人の流れに対応するため、本市の強みや特長を最大限に活かしながら、多くの人に選ばれるまちづくりを力強く推進してまいります。

はじめに、まちづくりの最上位計画であります、第5次岡谷市総合計画 後期基本計画の策定に向けて、「基本構想の見直し」を行い、令和6年度からスタートします「後期基本計画」を策定してまいります。

また、第5次岡谷市総合計画によるまちづくりを推進するための基盤となる、「行財政改革プログラム」についても併せて策定してまいります。

産業の振興では、最終年を迎えます「岡谷市工業活性化計画」に掲げる各種施策を展開するとともに、計画期間中の取組の効果を検証し、次期計画を策定してまいります。

また、起業、技術相談、販路開拓の支援のほか、諏訪圏工業メッセの出展ブースを確保するなど、創業まもない中小企業者の経営基盤の確立や受注開拓を支援し、地域経済の活性化と雇用の拡大を図ってまいります。

なお、今年の諏訪圏工業メッセは、10月19日から21日まで 岡谷市民総合体育館並びにテクノプラザおかやで開催いたしますので、多くの方に足を運んでいただき、諏訪地域のものづくり産業をご覧いただきたいと思ひます。

商業・サービス業の振興では、商業環境の立地競争力の強化を図るため、商業等振興補助金により、新規出店の際の改修や、既存店舗の改修に要する経費などを助成することにより、まちなかのにぎわいの創出を図り、回遊性のある商業地の形成を目指します。

また、商業者及び消費者の意識・動向を的確に把握しながら、「岡谷市商業活性化計画」の次期計画を策定してまいります。

観光の振興では、4年ぶりとなる「市民祭 岡谷太鼓まつり」の開催に向け準備を進めております。

鳴り響く勇壮な太鼓の音の中で、祭りの熱気と楽しみを多くの方と共有したいと考えておりますので、ぜひ会場までお出かけいただきたいと思ひます。

昨年、昭和45年以来52年ぶりに社会動態の人口が年間で転入超過となりました移住・定住の促進では、若者移住者住まいの支援を更に充実させるとともに、大学等へ通う学生や29歳以下の勤労者に対する民間賃貸住宅の家賃補助を引き続き実施することにより、移住・定住をさらに促進してまいります。

このほかに、結婚に伴う住居費及び引越費用を拡大、結婚のきっかけとなる男女の出会いの場の創出から、結婚・定住までトータル的にサポートしてまいります。

公園整備では、岡谷湖畔公園のジョギングロードの整備や バasketボールコートを設置など、誰もが楽しく快適に、安全で安心して利用できる公園の整備を推進してまいります。

現在、蚕糸公園の再整備を進めておりますが、5月末に完成し、6月2日(金)の昼間にオープニングセレモニーを行います。

当日は、テープカットや小口保育園の園児による合唱を予定しております。

園内には、岡谷市の市章をイメージしたサークルベンチや繭型のベンチを設置し、夜間にはフットライトが点灯するなど、人々の出会いと交流の場となるまちなかの空間を作りだし、さらに旧岡谷市役所庁舎との一体感が生まれる公園となっております。

また、夕暮れの午後7時から、旧岡谷市役所庁舎のライトアップを行いますので、多くの方に訪れていただきたいと思ひます。

国の登録有形文化財であり、岡谷市並びに市民の貴重な財産であります旧岡谷市役所庁舎につきましては、適正に保全し後世に着実に継承するため、令和6年度に予定している耐震補強工事の実施設計業務を行ってまいります。

この他にも、3月30日に名称が決定しました諏訪湖スマート インターチェンジや諏訪湖周サイクリングロードの整備、川岸駅開業100周年に伴い、JR東日本が行います駅舎の建替えに合わせ駅前広場の整備等を実施してまいります。

続きまして、2つ目の重点施策「未来に輝くひとづくり」です。

出生数が年々減少する中、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるなど、子育て支援施策の充実を図り、多くの女性、若者に選ばれるまちづくりを進めてまいります。また、子どもたちの豊かな学びの推進に取り組むとともに、変化の激しい社会環境の中で、子どもたちの「未来を生き抜く力」を醸成するなど、岡谷市の将来を担うひとづくりに取り組んでまいります。

子育て支援の充実では、令和4年度に策定しました「岡谷市保育園整備計画中期計画」に基づき、西部地区(川岸地区)の整備を進めることとし、幼児教育と従来の保育機能を併せもつ「公立の幼保連携型認定こども園」の設置に向けて事業を推進してまいります。子育て世帯への経済的支援では、幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の減額・免除、小中学校における就学援助費などを継続実施いたします。

また、子どもの医療費負担を心配することなく、安心して医療を受けることができるよう、福祉医療費給付金について、4月から入院・外来ともに、対象年齢を15歳(中学3年生)から18歳(高校3年生)まで拡大しております。

さらに、学校給食におきましては、物価高騰への対応として、令和5年度は、学校給食費の値上げ相当分を全額公費で負担してまいります。

学校教育の推進では、川岸小学校と岡谷西部中学校において、切れ目のない一貫した教育を提供する「施設一体型義務教育学校」の設立をめざすとともに、公立の幼保連携型認定こども園を併設する「川岸学園構想」の推進により、異年齢の子どもたちをつなぐ、新たな学び舎の創出を図ってまいります。

4月から、教育委員会に「川岸学園設立準備室」を設置しましたので、これから基本計画等の策定や整備に向けた準備を進めてまいります。

スポーツの振興では、令和10年に長野県で開催されます、第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会において、卓球競技が岡谷市で開催されることが内定しておりますので、今後、準備委員会、実行委員会組織の立ち上げに向けて、関係機関との調整を図りながら事業を推進してまいります。

また、施設整備においては、昨年10月から岡谷市民プールの大規模改修工事が終了となり、来週5月3日にリニューアルオープンとなりますので、多くの方にご利用いただきたいと思っております。

文化・芸術の振興では、今年11月に岡谷美術考古館が開館10周年を迎えます。

引続き、質の高い芸術文化に触れる機会を創出するとともに、来館者の増によるまちなかのにぎわい創出につなげてまいります。

また、長野県宝にも指定されている岡谷市の貴重な文化財のひとつであります、旧渡辺家住宅は、経年による傷みが見られることから、茅葺屋根の葺き替え工事、中門の補修工事などを行い、適正な保全に努めてまいります。

最後に、3つ目の重点施策「穏やかで美しい日常の実現」です。

頻発する自然災害に対する防災・減災への備えを強化し、安全・安心で、強靱な地域づくりに取り組むとともに、二酸化炭素排出量の削減など地球温暖化対策を官民一体となって進め、2050年ゼロカーボンシティ宣言都市として、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

また、福祉、健康づくり分野など、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

安全対策の推進では、河川氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、市が管理する普通河川の河床整備や護岸改修などを行うほか、土砂や樹木によって流れが阻害されている河川の浚渫を計画的に実施する河川緊急浚渫推進事業に、引き続き財源を重点配分して取り組んでまいります。

また、地域の防災力・減災力強化事業として、令和4年3月に見直しを行った避難情報の発令判断基準及び避難行動等の周知徹底に努めるほか、防災訓練や地区防災マップの作成支援などの取組み通じて、各区自主防災組織を中心とした住民及び地域の防災力・減災力の強化を図ってまいります。

このほか、緊急時の情報発信機能を強化するとともに、住民への情報伝達をより確実なものにするため、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの更新に着手してまいります。

消防力の強化では、消防団員処遇改善対策事業として、令和4年度に実施しました消防団員の出動報酬の引き上げに続き、国が示します「非常勤消防団員の報酬等の基準」に基づき、消防団部長以下の年額報酬を引き上げることとし、引き続き、消防団員の負担軽減、安全確保とあわせ消防団への加入促進に努めてまいります。

生活道路の整備では、交通量の多い主要幹線道路や身近な生活道路を中心に計20路線の維持補修及び劣化が軽微な段階で修繕を講じる予防保全型の維持補修に努めます。上下水道の維持・整備では、岡谷市水道事業基本計画に基づく効率的な水の運用と危機管理体制を強化するために、停電時でも12時間滞留可能な今井上向配水池の整備を行うとともに、宗平寺水源ポンプ場の整備を行ってきました。

これからも水道施設の更新や耐震化計画を計画的に進め安全で安心な美味しい水を安定的に供給していくために本年度は片間町ポンプ場の築造工事を実施してまいります。

環境保全の推進では、ゼロカーボンシティ宣言都市として、まず、市役所庁舎及びテクノプラザおかや大研修室の照明LED化に着手するとともに、各区が行う防犯灯のLED化及び公会所等の照明設備のLED化に対して支援します。

また、住宅用再エネ設備等導入促進事業として、蓄電システム導入補助金に加え、新たに個人住宅に設置する電気自動車充放電設備の導入経費の一部を助成することで、再生可能エネルギーの利用促進と二酸化炭素排出量の削減を図ってまいります。

高齢者福祉の推進では、個々の健康状態に応じた運動習慣や食習慣などの個別指導を行う「シニア運動療法教室」を開催するほか高齢者のフレイル予防を図るため地域の通いの場において医療専門職による講座の実施や健康相談などに取り組んでまいります。健康づくりの推進では、外出控えによる体力の低下や生活習慣病の重症化など、市民の健康状態の悪化が懸念されることから、健康増進計画 健活プロジェクトとして、各種健康講座の開催やシルキーチャンネルを活用した啓発活動のほか、特定健診後の保健指導に注力し、市民の健康の保持と増進を図ってまいります。

地域医療体制の推進といたしまして岡谷市病院事業では、天野病院事業管理者、内山病院長のもと、安定的な経営基盤の維持を第一とし、人材育成、質の高い医療サービスの提供に向けた積極的な病院運営を進め、市民の生命と健康を守る病院づくりを推進してまいります。

今年、MRIが購入してから12年が経過することから、6月中旬の更新に向けて準備を進めております。新たに導入する装置は、従来のものとは比べ直径が大きくなるため心理的負担が減るとともに、広範囲の撮影が可能となり画像感度も鮮明になります。そして、撮影時間の短縮に伴い、1日当たりの利用枠は11枠から4枠増え15枠となり、年間で最大約600件ほど利用件数が増える見込みになります。

以上、令和5年度の各種事業の取組みの一部を紹介させていただきました。

引き続き、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、心に寄り添い、ともに協力しながら、後期基本計画期間であります次の5年間に向けた助走を加速し躍動してまいります。

最後になりますが、岡谷ロータリークラブの会員の皆様方には、それぞれのお立場で、市政の推進と地域の振興にご支援賜りますことを重ねてお願い申し上げ、また、駆け足での説明になってしまったことをお詫びしながら、私の話を閉じさせていただきます。ありがとうございました。



ニコニコボックス

平沢清文 創業月です。

中村文明 大正2年創業、今年で109年になります。今後ともよろしくお願ひします。

佐伯克己 お陰様で創業77年目を迎えることができました。今後ともよろしくお願ひいたします。

山岸邦太郎 遅くなりましたが、2月が創業月でした。

今井康善 創業125年を迎えることができました。これからもお客様に喜ばれる店作りをしてまいります。

杉村邦彦 創業53年になります。地域の皆様に支えられ、ここまで来ることができました。これからも応えられるよう精進してまいります。

梅垣和彦・江黒寛文・大橋正明・小口国之・小口智之・笠原新太郎・片倉克昭・上條英雄・北澤洋之介・小林大介・小宮山英利・佐伯克己・杉村邦彦・竹村一幸・中畑隆一・中村文明・西澤賢・濱毅・濱俊弘・林広一郎・林裕彦・平沢清文・宮澤由己・矢島貴・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫・吉村栄二

岡谷市長今井竜五様、本日の卓話楽しみにしています。

今井康善・大滝祐吉・大橋正明・小口隆・小口裕司・杉村邦彦・高木克彦・中嶋孝一・西澤賢・林尚孝・宮澤由己・矢島実・吉村栄二

米山奨学生グエンゴックフエン様、ようこそ、岡谷ロータリークラブへ。

出席報告

会員数50名、出席者37名、出席率74.0%

